

特許出願公告 (昭和 33—4—23)

- 昭 33—3002 真空熔解炉 (林主税) 日本真空技術 K. K.  
 昭 33—3005 延性高アルミニウム鉄合金の製造法 (真殿 統) 同人  
 (略)  
 昭 33—3006 取鍋煉瓦の侵蝕防止法 (高石義雄) 同人  
 熔鋼炉からの出鋼末期に流出する鋼滓にコークスを添加し、鋼滓中の酸化鉄を還元させ鋼滓中に発生する炭酸瓦斯により鋼滓を発泡状態として取鍋から溢出させて残存鋼滓の量を減少させると共に流動性を減退させる方法。

特許出願公告 (昭和 33—4—25)

- 昭 33—3151 粉鉱石のディスク式ホール成型装置 (浜田武士) 川崎製鉄 K. K.  
 (略)

特許出願公告 (昭和 33—4—26)

- 昭 33—3202 砂鉄撰鉱機 (瀬々 勝) 同人  
 (略)  
 昭 33—3209 圧延機のロール軸線自動調整装置 (宮本雛市) 八幡製鉄 K. K.  
 (略)

特許出願公告 (昭和 33—5—9)

- 昭 33—3501 溶解炉における気体燃料の高圧燃焼方法 (山内仁外 1) 富士製鉄 K. K.  
 溶解炉の操業において気体燃料を圧力範囲  $0.4 \sim 7 \text{ kg/cm}^2$  の高圧力の状態で使用する方法。  
 昭 33—3502 粉鉄鉱製煉装置 (中島統一) 同人  
 (略)  
 昭 33—3503 キュポラー自動装入装置 (原田梅吉外 1) K. K. 豊田自動織機製作所  
 (留)  
 昭 33—3504 特に鋼の酸素製錬の際に生ずる廃ガスの清浄方法 (ハンス・ワアハテル外 2)  
 (略) メタルデゼルシャフト・アクチエンゲゼルシャフト (独)  
 昭 33—3507 熱処理炉加熱法 (キヤロル, コーン) ドナルド・ケー・マーチン (米)  
 (略)  
 昭 33—3516 鋼材複通し上向レピーター縫れ防止装置 (浦武平外 1) 八幡製鉄 K. K.  
 (略)

(鉄鋼ニュース 719 頁よりつゞく)

とにより反応を早め、鉄鉱石の還元を促進させて7乃至9%の出鉄増加を期待できるものと見られる。八幡製鉄では月間  $700 \text{ 万 m}^3$  の酸素製造能力を保有しているが、このうち転炉には使用できない低純度酸素(96%程度)を高炉酸素富化に利用して活用するというねらいもふくまれている模様である。

#### 日曹のペレタイジング電気鉄試作

日曹製鋼では、かねてペレタイジング形状による電気鉄の量産化を検討中であつたが、ちかく第1回の量産試作をはじめ。この電気炉による砂鉄ペレット鉄は、わが国初のことであり、この結果によつては量産の具体化も十分可能視されるだけにその成果が期待されてい

る。

砂鉄ペレタイジングの方法は、まず砂鉄を粉砕して粒子を細かくし、これを回転ドラム中に入れ(水を10%前後混入)回転、その状態が丸状となるが、これを焼結するとペレットができ上る。この利点は、(1)粉状では大型炉になるとガス抜きが悪くペレットにすると非常に良い、(2)炉に蓋をして廃ガスを吸収、これを利用することができることなどがあげられている。

同社は鶴見工場これを日産約10tの回転ドラムで現在約400t程度製造されているが、このペレタイジングを八戸工場の6,000K電気炉に投入量産化の試作を行うわけである。